

令和6年度 第3回 神奈川県立二宮高等学校学校運営協議会 議事録

日時 令和7年3月17日（月）15：00～15：40

会場 神奈川県立二宮高等学校（南棟2階 会議室）

議長 教頭（会長欠席のため）

司会 教頭

参加者

委 員

山 本	正 博	地域代表・緑が丘地区長	欠席
近 藤	優 保	地域代表・一色地区長	
中 西	美 保	二宮町立一色小学校 校長	欠席
藤 田	和 人	二宮町立二宮西中学校 校長	
杉 崎	雅 子	学識経験者・小田原短期大学 保育学科准教授	欠席
椎 野	文 彦	二宮町教育委員会 教育部長	
二 見	敏 夫	二宮町選挙管理委員会・二宮高等学校同窓会会长	
神 部	太 祐	二宮高等学校 P T A会長	欠席
猪 俣	聰	二宮高等学校 校長	

学 校

副校長	鈴 木	謙 治
教 頭	瀬 戸	淳 一子
事務長	坂 上	圭 彦
総括教諭（学習支援G）	神 谷	雅 健太郎
総括教諭（生徒支援G）	小 山	健太郎
総括教諭（進路支援G）	田 中	美 沙
総括教諭（学校管理G）	山 口	卓 子
総括教諭（生活指導G）	坂 元	孝 大
教諭（インクルーシブ教育推進G）	伴 野	輔 彦
事務局（学校管理G）	磯 崎	幸 彦

次 第

1 校長挨拶

2 議 事

（1） 学校評価報告書について（副校長）

資料P18～19の通り報告された。

（2）各グループより報告

・学習支援グループ（神 谷）（6ページ参照）

計画に沿って業務を支障なく実施できた。

後期授業評価は前期に比べ下がったものがあったが、満足度が8割を超えており職員にとって励みになっている。

新課程が3年目を迎えたが、授業の改善を進めていく余地がある。

- - ・生徒支援グループ（小　山）　　（9ページ参照）
 - 学校説明会を計画通り実施できた。
 - 部活動、グループによる地域活動協力だけでなく1年生全員による学校周辺清掃を行った。
 - 地域にとの連携は2か月に一度の割合で実施し、連携を深めることができた。
 - 3年間部活動を経験してきた中学生が入学してくるので、部活動が活発になるよう活動体験等を行なう。
 - 運動部、文化部ともに活発に活動した。
 - 校内行事は無事に実施できたが、今後、酷暑に対して安全で生き生きと活動ができるよう検討していく。
 - ・進路支援グループ（田　中）　　（11ページ参照）
 - キャリア教育を計画通り実施できた。
 - 2年生に対して「先輩からの話を聞こう」をオンラインで実施した。
 - 昨年と変わりない進路実績であるが、まだ、一般受験の結果は反映していないものである。
 - 自己肯定感を持てるよう総合の時間を充実させていく。
 - ・学校管理グループ（山　口）　　（13ページ参照）
 - 各行事が滞りなく行われた。
 - P T A役員を無事選出することができた。
 - 同窓会に卒業生全員が入会した。
 - 新年度を迎えるにあたって、各種環境整備に努める。
 - ・生活指導グループ（坂　元）　　（15ページ参照）
 - 安心安全に学校生活ができるよう校内巡回等を行った。
 - 節目ごとに交通安全・服装等の指導を行った。
 - スクールソーシャルワーカー・カウンセラーによる、悩み相談を毎週行った。
 - 他校・警察等との連携を深めることができた。
 - 各種研修を生徒及び職員に行い意識の向上に役立たせることができた。
 - ・インクルーシブ教育推進グループ（伴　野）　　（16ページ参照）
 - 中学生対象の説明会を実施した。
 - 生徒一人ひとりの実態に合わせて教育計画を作成して指導した。
 - 保護者対象進路学習会を実施するなど、校内、校外機関で協力して進路支援を行った。

（3）質疑応答

問　　他校と異なる取り組みは何か。

回答　進路指導として会社見学を1年生向けに行い就職に対する意識を高めている。
インクルーシブ教育を実践し、全生徒の意識を根付かすよう努めている。
相模人形部があるほか、ダンス部等が地域に根差して活動している。

問　　闇バイトに対してどのような指導をしているか。

回答　機会あるごとに注意喚起をしている。
保健の授業で例をあげて、どうしたら避けられるか指導している。
警察による防止教室を今後、実施していく。

(3) 学校運営協議会　学校関係者評価と有識者による評価について

- ・令和6年度から追加された「有識者による評価」（「第三者の視点」）について有識者に提出依頼を行った。
- ・各グループリーダーへ学校評価報告書の「総合評価」欄の記入依頼を行った。